「イオンシーリングの研究」

（自然エネルギー・指圧代用療法の研究）

生命誕生・エネルギーの「そよ風の中で」

宇宙や太陽から発する電磁波エネルギーの強い嵐は、地球の大地に届くときは、ちょうど「そよ風」になって地上に達します。

大気と海の穏やかな「そよ風」と「さざ波」が、何億年もの時の流れの中で優しく混ぜ合わされ、エネルギーと原子（物質）が融合して生命誕生の扉が開かれたと言えます。地球の穏やかな自然の中でゆやかに揺れ動くエネルギーの波に揉まれて、原子や電子がそれぞれの意思のもとに和を保ちつつ集合して生命体が形成されたのです。

生命体とは、原子や電子（物質そのもの）がそれぞれの意思をエネルギーの海の中で、より確かな安定の形に実現させるための一つの形態です。

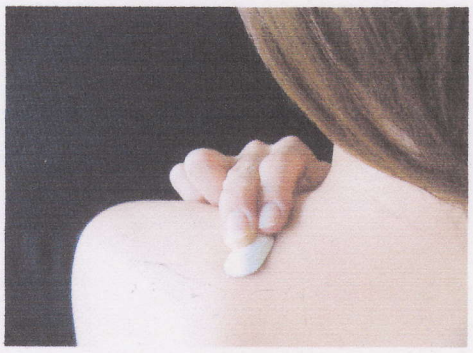
私たちの身体の健康を考えるとき、この基本的な生命誕生の真理を無視してはなりません。春の、ぽかぽかとした暖かな太陽の光の中で草木は芽生え、やがて新緑の季節を迎えます。まさに、生命誕生の原点です。私たちの自然治癒力療法の目指すところと言えます。

1・「大切な生命を守る自然治癒力」

人生の幸せは、先ず健康から

生命の営みとは、血液やリンパ液などの体液の循環によって為し得る円滑な代謝活動が主体です。この体液循環による代謝機能とは、私たちの健康を守る自然治癒力そのもので、体内細胞の生命活動で生じた老廃物や有害物質を除去排出し、必要な酸素や栄養素など有益な物質の補給を円滑な体液の循環によって為される機能のことです。

健康とは、この体液による循環代謝機能が正常に働いている状態です。換言すれば、病気やケガの原因を問わず、如何なる重い症状の状態であっても、滞っている血液やリンパ液などの体液循環を適正化できれば、悪化している症状の痛みや苦痛を飛躍的に改善する可能性が望めます。



JTP イオンシーリング研究所

２・「イオンシーリングとは」

イオンシーリングは、この健康と言う命題を化学変化ではなく、私たちの生命活動に必要な遠赤外線効果やマイナスイオン効果・磁性効果などの微弱なエネルギー効果を科学的にハイブリッド活用し、指圧代用品に成型して用い、血液やリンパ液などの体液循環を促進して自然治癒力を強化して、多くの健康問題を根本的解決に導く先端科学健康技術です。

３・「痛みや苦痛は、身体のＳＯＳ救助信号”」

病気やケガの症状は、たいていその症状の軽重に比例して痛みや苦痛を伴います。病気やケガの原因が異なっていても、その痛みや苦痛を伴う患部は、血液やリンパ液などの体液による代謝機能が著しく低下していて、腫れや鬱血の状態となり個々の細胞の生命活動が危機的な状態に陥っています。

私たち人間の痛みや苦痛は、まさしく構成細胞一つ一つの生命危機の改善・救助を望む意思表示と言えます。

４・「痛快感や爽快感は、身体の健康回復シグナル”」

苦痛は、症状の改善・回復が進みだすと痛快感や爽快感に変化していきます。患部の改善が一部でも始まれば、痛みや苦痛は大幅に和らぎ一種の快感覚として認識される場合が多くあります。

まさしく快感覚は、身体を構成する個々の細胞の健康回復感覚の集合体であると言えます。そしてまた快感覚は、患部細胞の健康回復条件の充足を伝達するシグナルと言えるのです。

５・「痛みや苦痛の改善は、患部の循環代謝機能の強化を第一に”」

血液やリンパ液などの体液の循環によって細胞の新陳代謝活動が維持されています。私たちの痛みや苦痛は、病気やケガを原因として血液やリンパ液などの体液の循環が損なわれ、患部の細胞が代謝活動を維持できない苦しみなのです。

患部の循環代謝機能の改善は、血液やリンパ液の①流動性と②溶解力を高めることで可能になります。体液の①流動性や②溶解力は、温度や磁力やマイナスイオンなどのエネルギー効果の利用によって即効的に高めることができます。

６・「血液の①流動性や②溶解力を高めるエネルギー効果”」

液体は、熱や磁気・マイナスイオンなどのエネルギー効果を受けると、流動性や溶解力を飛躍的に高めます。液体は、熱エネルギーを奪われてより低温になれば粘性を増し、やがて固形化します。逆に熱エネルギーを受けて高温になれば、液体の分子の自由度がたかまりサラサラした液体となります。さらに熱エネルギーを受けて高温になると液体の分子は完全に自由となり気化します。磁気エネルギーは、原子や分子に共鳴振動を誘発させ、液体の分子集まりであるクラスターを細分化して液体の溶解力を高めると言われています。

　マイナスイオンは、電子の豊富な原子もしくは分子の名称です。マイナスイオン効果とは、その豊富な電子によって液体の不足した電子を補い、酸化を防ぎ、液体の酸化に伴うクラスターの巨大化による粘化を防止し、液体のサラサラ度合いや溶解力を増加させる効果があります。

７・「私達の自然治癒力の向上に直結する微弱エネルギー効果”」

私達の血液やリンパ液などの体液による循環代謝機能の改善は、病気やケガからの回復に即効的に直結します。血液やリンパ液などの体液による循環代謝機能の改善には、微弱なエネルギー①熱エネルギー効果、②磁気効果、③マイナスイオン効果などの活用が大切で有効です。

8・「①熱エネルギーの健康効果について。」

私達人間の健康維持には、温かさが必要です。そのため人類は、身体温度の安定維持のために被服や暖房火器などに工夫を凝らしてきました。また、病気やケガの治療に温泉などの温かさを上手に利用しています。“温かさ”が血行を促進して身体の諸機能を活性化し、自然に自己治癒力が強化されることを本能的に知っていた分けです。

“温かさ”すなわち、熱エネルギーの質についての問題も重要です。温めた金属が発する熱エネルギーと人間の体温や炭火が発する熱エネルギーと言った熱エネルギーの差の問題です。私達人間にとってどちらが心地よく有益かと言えば、誰しも炭火の温かさを求めます。さらに、人肌の温かさは、炭火の温かさより数段有効です。古来、瀕死の重症者や衰弱の激しい患者の治療方法として人肌で温めたり、母親が素肌で子供を温めることも同じです。遠赤外線ふく射効果のあるセラミックスを活用して、冷えて血液やリンパ液の流の悪化した身体を、人肌温度の再利用で温めることは、最高の温熱療法の一つといえます。

9・「②磁気エネルギーの健康効果について。」

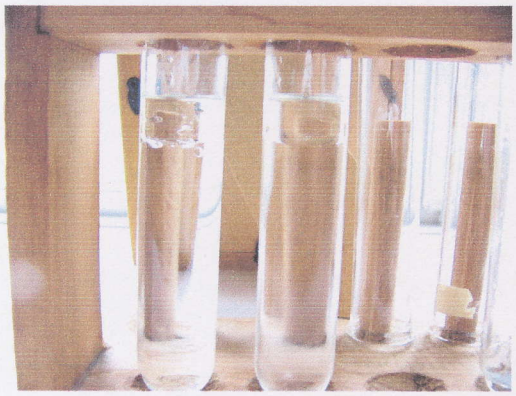
磁気エネルギーの健康効果はその性質上、対象原子や分子によって限定されますから、　熱エネルギーの普遍的な健康効果に比べると、その分、効果は低くなります。磁気エネルギーや熱エネルギーを含めてエネルギーの全ては、生命活動に適切なゾーンがあり、それ以下に低すぎても、それ以上に高すぎても生命活動は阻害されたり、全く効果が無かったりします。

磁気エネルギーの健康効果は、磁気エネルギーが水のクラスターを細分化して溶解力を高めることにあると考えられます。

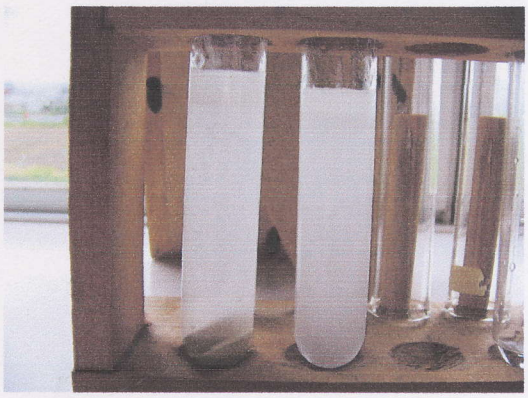
１０、マイナスイオンの性質についての効果試験資料

③サラダオイルとイオン処理水の低分子化高溶解力

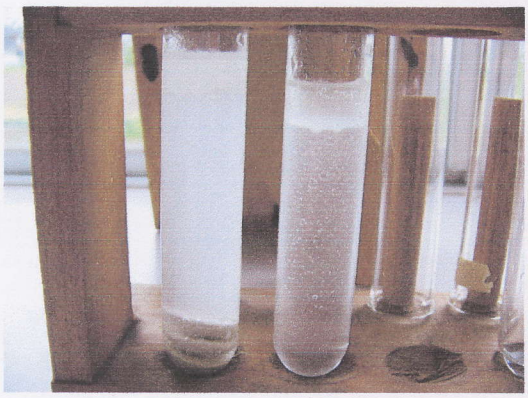
③—1　左イオン処理水/右井戸水



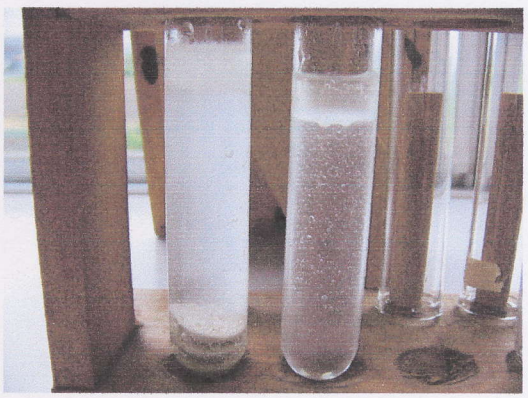
③—2　サラダオイルと攪拌・井戸水直後に分離始まる。



③—3　一時間経過・井戸水に分離が進む。



③—4　井戸水分離が進み一部固形化



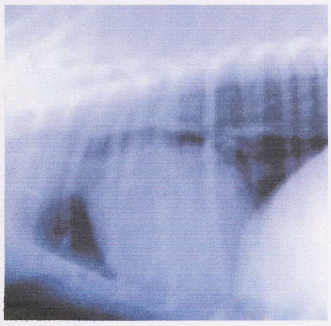
④　イオン処理水による植物育成力試験。

④—1　左普通水・右イオン処理水使用　　大きさ・重量共に顕著に差が出る。

マイナスイオン効果試験資料

③心臓が病んで 肥大した犬の
レントゲン写真

③－１，イオン効果で改善され、心臓が正常な
大きさに戻った犬のレントゲン写真



＊資料提供：塩浜犬猫病院・塩浜康揮院長

マイナスイオンの豊富な電子は、エネルギーの媒体効果と、電子が不足している酸化状態を防止しようとする効果の二面性を備えています。　私達の血液は、身体細胞の生命活動により生じた老廃物や有害物質を運び出し、反対に細胞の生命活動に必要な酸素や栄養素を運ぶ役目を受け持っています。この新陳代謝を効果的に機能させるには、（１血液の流を早くする）・（２血管を太くして血液の流量を増やす）・（３血液の溶解力を高めてより多くの代謝物を運ぶ）、の三つの方法があります。

一般的には、（１血液の流を早くする方法としては、温かにする熱エネルギー効果が有効です。）（２血管を太くして血液の流量を増やすには、血液の流を早くする温かな熱エネルギー効果を長期的に持続することにより、トレーニングと同様の効果が望めます。）（３血液の溶解力を高めてより多くの代謝物お運ぶには、マイナスイオン効果によって血液の酸化を防ぎサラサラ度合いを高めて対応することができます。）

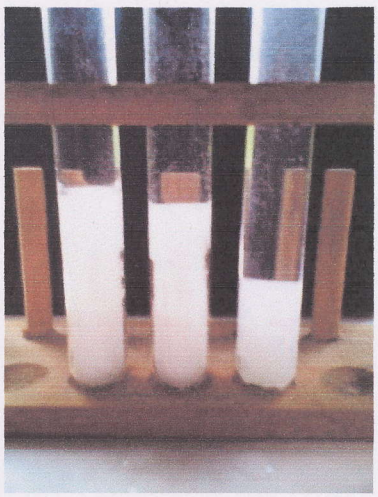
JTPイオンシーリング研究所

①花の写真

「塩水実験・イオン処理した塩水の方は枯れずに元気です。」

＊陶器のコップは、マイナスイオンセラミックを混合して焼き上げてあります。

②イオン処理水（向かって右）と、水道水（中央）・トルマリン処理水（左）との溶解力試験。



マイナスイオンは、熱エネルギー効果や磁気エネルギー効果などのエネルギー効果と異なって原子や分子の一つの形態として物質的に認識されます。しかし反面、マイナスイオン化した原子や分子を構成する豊富な電子群は、熱エネルギーや磁気エネルギーを取り込み蓄え、低エネルギー体に対して再放出するエネルギー媒体的性質があります。またマイナスイオンの電子は、本来有している電位エネルギーを、生命活動の中で電子を失い酸化に向かう電位的に不安定な原子や分子に移動供給して安定に向かわせます。

電子自体はエネルギーではありませんが、多種類のエネルギーが電子と共にあり、あたかも電子がエネルギーの集合体のような働きをすることも事実です。そして、マイナスイオンの豊富な多種類のエネルギーを帯びた電子が、多様な健康効果を具現化します。

人生の幸福は、先ず健康から

「イオンシーリング」

（指圧代用・健康療法）

１・「大切な生命を守る自然治癒力」

生命の営みとは、血液やリンパ液などの体液の循環によって為し得る円滑な代謝活動が主体です。この体液循環による代謝機能とは、私たちの健康を守る自然治癒力そのもので、体内細胞の生命活動で生じた老廃物や有害物質を除去排出し、必要な酸素や栄養素など有益な物質の補給を円滑な体液の循環によって為される機能のことです。

健康とは、この体液による循環代謝機能が正常に働いている状態です。換言すれば、如何なる重い症状の状態であっても、滞っている血液やリンパ液などの体液循環を適正化できれば、悪化している症状の飛躍的な改善の可能性が望めます。

（２・「イオンシーリングとは、」次ページへ。）

イオンシーリング研究友の会
ＪＴＰイオンシーリング研究所

２・「イオンシーリングとは、」（指圧代用・健康療法）

イオンシーリングは、この健康と言う命題を化学変化ではなく、私たちの生命活動に必要な遠赤外線効果やマイナスイオン効果・磁性効果などの微弱なエネルギー効果を科学的にハイブリッド活用した指圧代用品を用いて、血液やリンパ液などの体液循環を促進して自然治癒力を強化し、多くの健康問題を根本的解決に導く先端科学健康技術です。

（３・「痛みや苦痛は、身体のＳＯＳ救助信号”」次ページへ。）

イオンシーリングには、事前に無料研究学習の体験制度がありますからご利用ください。

３・「痛みや苦痛は、身体のＳＯＳ救助信号”」

病気やケガの症状は、たいていその症状の軽重に比例して痛みや苦痛を伴います。病気やケガの原因が異なっていても、その痛みや苦痛を伴う患部は、血液やリンパ液などの体液による代謝機能が著しく低下していて、腫れや鬱血の状態となり個々の細胞の生命活動が危機的な状態に陥っています。

私たち人間の痛みや苦痛は、まさしく構成細胞一つ一つの生命危機の改善を望む意思表示と言えます。

（４・「快感や爽快感は、身体の健康回復シグナル”」次ページへ。）

４・「痛快感や爽快感は、身体の健康回復シグナル”」

患部の痛みや苦痛は、症状の改善・回復が進みだすと痛快感や爽快感に変化していきます。患部の改善が一部でも始まれば、痛みや苦痛は大幅に和らぎ一種の快感覚として認識される場合が多くあります。

まさしく快感覚は、身体を構成する個々の細胞の健康回復感覚の集合体であると言えます。そしてまた快感覚は、患部細胞の健康回復条件の充足を伝達するシグナルと言えるのです。

（５・「痛みや苦痛の改善は、患部の循環代謝機能の強化を第一に”」次ページへ。）

５・「痛みや苦痛の改善は、患部の循環代謝機能の強化を第一に”」

血液やリンパ液などの体液の循環によって細胞の新陳代謝活動が維持されています。私たちの痛みや苦痛は、病気やケガを原因として血液やリンパ液などの体液の循環が損なわれ、患部の細胞が代謝活動を維持できない苦しみなのです。

患部の循環代謝機能の改善は、血液やリンパ液の①流動性と②溶解力を高めることで可能になります。体液の①流動性や②溶解力は、温度や磁気やマイナスイオンなどのエネルギー効果の利用によって即効的に高めることができます。

（６・「血液やリンパ液の①流動性や②溶解力を高めるエネルギー効果”」次のページへ。）

６・「血液やリンパ液の①流動性や②溶解力を高めるエネルギー効果”」

液体は、熱や磁気・マイナスイオンなどのエネルギー効果を受けると、流動性や溶解力を飛躍的に高めます。液体は、より低温になれば粘性を増し、やがて固形化します。逆に熱エネルギーを受けて高温になれば、液体の分子の自由度がたかまりサラサラした液体となります。さらに熱エネルギーを受けて高温になると液体の分子は完全に自由となり気化します。磁気エネルギーは、原子や分子に共鳴振動を誘発させ、液体の分子集まりであるクラスターを細分化して液体の溶解力を高めると言われています。

マイナスイオンは、電子の豊富な原子もしくは分子の名称です。マイナスイオン効果とは、その豊富な電子によって液体の不足した電子を補い、酸化を防ぎ、液体の酸化に伴うクラスターの巨大化による粘化を防止し、液体のサラサラ度合いや溶解力を増加させます。

（７・「自然治癒力向上に直結する微弱エネルギー効果”」次ページへ。）

１０・「マイナスイオンの健康効果について。」

１０－①・マイナスイオンの性質

マイナスイオンは、熱エネルギー効果や磁気エネルギー効果などのエネルギー効果と異なって原子や分子の一つの形態として物質的に認識されます。しかし反面、マイナスイオン化した原子や分子を構成する豊富な電子群は、熱エネルギーや磁気エネルギーを取り込み蓄え、低エネルギー体に対して再放出するエネルギー媒体的性質があります。またマイナスイオンの電子は、本来有している電位的エネルギーを、生命活動の中で電子を失い酸化に向かう電位的に不安定な原子や分子に移動供給して安定中和に向かわせ、血液のサラサラ度合いを高めます。

電子自体はエネルギーではありませんが、多種類のエネルギーが電子と共にあり、あたかも電子がエネルギーの集合体のような働きをすることも事実です。そして、マイナスイオンの豊富な多種類のエネルギーを帯びた電子が、多様な健康効果を具現化します。

（１０－②・マイナスイオンの効果・次ページへ。）

１０－②・マイナスイオンの効果

マイナスイオンの豊富な電子は、エネルギーの媒体効果と、電子が不足した酸化を防止しようとする効果の二面性を備えています。

私達の血液は、身体細胞の生命活動により生じた老廃物や有害物質を運び出し、反対に細胞の生命活動に必要な酸素や栄養素を運ぶ役目を受け持っています。この新陳代謝を効果的に機能させるには、（１血液の流を早くする）・（２血管を太くして血液の流量を増やす）・（３血液の溶解力を高めてより多くの代謝物を運ぶ）、の三つの方法があります。

一般的には、（１血液の流を早くする方法としては、温かにする熱エネルギー効果が有効です。）（２血管を太くして血液の流量を増やすには、血液の流を早くする温かな熱エネルギー効果を長期的に持続することにより、トレーニングと同様の効果が望めます。）（３血液の溶解力を高めてより多くの代謝物お運ぶには、マイナスイオン効果によって血液の酸化を防ぎサラサラ度合いを高めて対応することができます。）

◎　この様に、多様なエネルギー効果を相乗的に活用することにより、飛躍的な健康効果を得ることが可能になります。